



おらが湊鐵道応援団報

第110号

勝田 | 阿字ヶ浦

熊本・南阿蘇鐵道へ復興支援

4月の熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇鐵道(17.7km)の早期復旧を支援する輪が広がっています。海浜鐵道8周年記念祭で開催した「大好き! 茨城の鐵道」写真展では、募金をしてくれた人へ写真家たちが持ち寄ったプリント写真をプレゼントしました。また、海浜鐵道などローカル鐵道4社が共同で発行した「復興祈念切符」の販売が好調。一時売り切れでしたが、増刷され発売が再開されました。

8周年記念写真展で義援金受付

5月14~15日に開催された写真展には742名もの皆様にお越し頂きました。

会場で南阿蘇鐵道への義援金を呼び掛けるために設置した「ふっか壺(復活壺)」への募金は、61,912円となりました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

これに、参加写真家からの募金5,825円、応援団からの3,000円を加え、合計で70,737円を南阿蘇鐵道へ送金させていただきます。

南阿蘇鐵道さんが1日も早い復興を成し遂げ、地域の足として今後もいつまでも活躍されることを願ってやみません。たくさんの皆様のご協力、ありがとうございました。



地方鐵道4社で復興祈念切符

4月29日から地方鐵道4社(若桜鐵道・いすみ鐵道・由利高原鐵道・ひたちなか海浜鐵道)が共同で発売を開始した「南阿蘇鐵道 希望の光 復興祈念切符」には南阿蘇鐵道を加えた5社の入場券(乗車券)と各社を代表する車両の写真が添えられています。当初500セットが用意されましたが、反響が大きくすぐに完売、さらに500セットが追加発売されました。販売額は1,000円。印刷経費を差し引いた700円が復興支援金として南阿蘇鐵道に贈られます。



にぎやかでした8周年記念祭 & みなと再発見フェス

5月15日に開催された海浜鐵道開業8周年記念祭と、みなと再発見フェスは好天に恵まれ、たくさんのお客様が、那珂湊駅と本町通りの間を行き来しました。

259枚の絵手紙を車輿に展示します

5月19日、「絵手紙で湊線を応援したい」と、湊線絵手紙応援隊代表の山口浩子さん(右)と海老澤玲子さんが那珂湊駅を訪れ、吉田社長へ大量の絵手紙を手渡しました。

平成25年から続く今回のテーマは「目指せ100万人!」。22都道府県189人の皆さんが描いた259枚の絵手紙は、5月下旬から湊線の車輿内に掲示されます。湊線に乗って全国からの温かな応援メッセージを是非ご覧ください。

応援団 facebook「いいね!」5,000名を超えました

毎日数本の記事の更新を続けている「おらが湊鐵道応援団」フェイスブック(FB)ページに「いいね!」を押してくれた方が、4月29日について5,000名を突破しました。2011年1月27日に全国で2番目の鐵道応援FBページとして始めて以来、5年3ヶ月で到達。日々湊線を応援するべく励んできました。

当時FBページを使って情報発信する鐵道会社も日本国内にはなく、その効果がどんなものか手探りでありましたが、その1か月半後に起きた東日本大震災では情報発信ツールとしてその威力を遺憾なく発揮し、今では月にのべ10万人以上の閲覧があります。また、海外からの「いいね!」も台湾の約500名を筆頭に、44か国(地域)を数え、私達の取り組みに手応えを感じているところです。

先に始めていたTwitter(@keha601)もフォロワーが6500人。これからも湊線や沿線地域の情報を発信し続け、街や沿線の活性化に少しでも寄与できるように頑張っていきます。引き続き、ご笑覧と湊線の応援をよろしくお願いいたします。

各駅の清掃・環境整備いつもありがとうございます

ハマギク花壇の整備ありがとうございました



5月7日、那珂湊駅西側のハマギク花壇(約200m)の除草取りが、周辺自治会の皆さん約70名に協力を頂き行われました。ハマギクの花言葉は「逆境に立ち向かう」。廃線の危機や大震災を乗り越えてきた湊線の象徴とも言える花です。7月と10月にも作業が行われます。秋の開花が楽しみです。

駅名	6月5日(日)	7月3日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

朝8:30(中根駅は朝8:00)から実施しています。

野菜と干物の朝市

毎月第一日曜日に開催

6月5日(日) 午前9時~11時頃まで
那珂湊駅1番線ホーム

応援団オリジナル 平日も那珂湊駅窓口で販売

ポストカード 好評販売中

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」5,120名を達成しました!

- 【海浜鐵道関係】
 - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
 - 【応援団関係】
 - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)
- ※「ひたちなか海浜鐵道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

難関だった入社試験を突破して4月から2名の新入社員が海浜鐵道に採用されました。これからの抱負や町の印象を寄稿していただきました。

湊線と共に成長したい

ひたちなか海浜鐵道 管理課 仙波直之さん

初めまして。私は4月より新入社員として海浜鐵道の一員となりました。

入社以前の私にとって湊線といえば、高田の鉄橋駅の新設や延伸構想など順風満帆なローカル線というイメージがありました。このようなイメージのみが先行し、具体的にどのように湊線が地域とかわかっているのか全く想像がつかせませんでした。

4月に入社して1か月ほどが経ち、ほんの少しではありますが湊線が地域の皆さまにとってどのような存在であるか分かってきました。那珂湊駅で業務に従事する中で、高校生の通学やご高齢の方のお出かけなど地域の足として必要とされているのを感じます。また、湊線が「おらが湊鐵道応援団」の皆さまをはじめとして、市や商店街、住民の皆さまにご協力いただいていることで成り立っていることも、皆さまが活動される姿を見て実感しています。

さて、私は4月より那珂湊駅で駅員として配属されました。駅員としてはまだまだ未熟で見習いのような段階ですが、一生懸命に業務を覚えて立派な駅員になりたいと考えております。駅員はお客様と最初に接する湊線の顔となる存在だと思いますので、責任をもって業務に従事してまいります。駅員という職務上、皆さまと接する機会も多いと思いますので、私のことを見かけた際は気軽にお声をかけていただけると嬉しいです。

地域の力で成長著しい湊線。私も新入社員として、湊線と共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



安全・正確な運行に貢献します

ひたちなか海浜鐵道 工務区 国分大地さん

茨城高専を卒業して、ひたちなか海浜鐵道に入社してから早くも1ヶ月半が経ちました。

この一ヶ月半、配属先である工務区の業務、ゴールデンウィークの多客対応、そして8周年記念祭と様々な仕事に触れ、いくつかのことに気づくことができました。

ひとつは、鐵道という交通機関が実に様々な仕事の積み重ねで成り立っているということです。学生時代は鐵道というと、運転士や駅務員といった表に立つ仕事に目が行きがちでしたが、入社してみると、その他にも表からはなかなかつかない知る事の出来なかった仕事があることが分かりました。私自身も工務区といういわば裏方的な部署に配属され、軌間整正や分岐器の計測など地味ながら重要な仕事に携わることになり、日々の運行に微力ながら貢献できることに、やりがいを感じています。

もうひとつは、湊線は大変地域に密着した路線であるということです。ゴールデンウィークやイベントのみならず、普段からたくさんのお客様にご利用いただいていること、沿線での作業中に地域住民の方に声をかけていただいたりしたことは大変励みになりました。

今後も、ひとつひとつの仕事を実身に身につけ、また地域の皆様とのつながりも大切にしながら、安全、正確な鐵道のために精進していきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。



「乗車証明書」でおトク!

- ★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鐵道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
- ★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
- ★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

